

日本演劇学会 2018年度 研究集会

- ◆ テーマ（案）：「演劇とその場所—劇場は必要か？—」
- ◆ 日時：2018年11月10日（土）、11日（日）
- ◆ 会場：静岡文化芸術大学
〒430-8533 浜松市中区中央 2-1-1

演劇の歴史の豊かさは劇場とともに育まれてきました。劇場の場所や劇場空間が社会のあり方を反映することもあれば、劇場の技術改良が新しい演劇表現を生み出すこともあります。そして2012年6月の「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」（劇場法）施行から6年が経過した今日の日本では、劇場の役割が多様化し、わたしたちの劇場への期待は高まるばかりです。

その一方で、ツアー・パフォーマンスやサイトスペシフィック・シアターのような、劇場を必要としない実験も盛んに行われています。演劇行為が成立するには「なにもない空間」を横切る人間とそれを見つめる人間がいればよいというピーター・ブルックのよく知られた言を俟つまでもなく、建造物としての劇場は演劇に必要なものではないのかもしれませんが。

はたして劇場は必要でしょうか。そうだとすれば、なぜ必要なのでしょう。

演劇学会では、すでに2009年秋SPACでの「公共劇場のゆくえ」（SPAC）と2011年春の「劇場と社会」（日本大学）において劇場に関する充実した議論が交わされました。そこから劇場法の施行を経て、実にさまざまな次元で劇場をめぐる思考と実践が繰り返されている今、もう一度、演劇と劇場史を見直したいと思います。ふるってご参加ください。

以上のような研究集会テーマでの研究発表を募集します。みなさまのご応募をお待ちしております。

2018年度研究集会実行委員会 永井聡子・井上由里子

◇研究集会 研究発表応募要領◇

下記の①～⑥の情報を A4 一枚にまとめ、E-mail 添付（件名：2018 年度日本演劇学会研究集会応募）、または郵送でご応募ください。

- ①発表又はパネル題目
- ②発表者氏名（ふりがな）
- ③所属・身分（学年）
- ④ご連絡用の住所、電話番号、E-mail アドレス
- ⑤使用予定機材
- ⑥発表要旨 600 字程度

- * なお発表時間は、発表 25 分・質疑応答 10 分、パネルの場合は 2 時間を予定しています。
- * 採否につきましては追ってご連絡いたします。
- * テーマ以外の研究発表も併せて募集いたします。

◇応募資格◇

本学会員であること。又、本年度の学会費を収めていること。

【発表題材例】古代ギリシアの劇場と装置／古代ローマの劇場建築論／聖史劇の装置／ルネサンスの劇場／シェイクスピアと劇場／バロック演劇の劇場／フランス古典主義時代の劇場／世阿弥の劇場論／狂言と能舞台／歌舞伎と劇場空間／バレエと劇場運営／ワーグナーの劇場論／マラルメの劇場と民衆／近代演出黎明期における劇場の技術革新／日本演劇における劇場の近代化／大衆演劇の舞台と客席／日本の小劇場演劇／テント演劇／野外劇場／サイトスペシフィック・シアター／ハプニング／市街劇／ツアー・パフォーマンス／儀式と場所／劇場法の意義と課題／公共劇場／リージョナルシアター／まちづくりと劇場／劇場と都市文化 など

応募締め切り：2018年8月25日（土）必着

応募先

〒430-8533 静岡県浜松市中区中央 2-1-1 静岡文化芸術大学文化政策学部 井上 由里子 宛
E-mail: y-inoue@suac.jp Tel/Fax 053-457-6190